

こんじゅう ひと すく
今週のことば「すべての人の救い」

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》マタイによる福音書 2:1-12

とうほう がくしゃ れいはい
東方の学者たちが、イエスを礼拝する
しよ こうげん でき
ためにやってくるという主の公現の出来
ごと ものがたり ふくいんしよ つた
事の物語は、マタイ福音書にだけ伝えら
れています。

ものがたり り かい ふく
この物語を理解するために、マタイ福
いんしよ か いと しら ひつよう
音書の書かれた意図を調べてみる必要が
ふくいんしよ きげん ねん
あります。マタイ福音書は、紀元70年の
かんらく いご か
エルサレム陥落以後に書かれたものです。
ふくいんしよ さき か ふくいん
この福音書も、先に書かれたマルコ福音
しよ いと したが かみ こ
書の意図に従って、神の子イエス・キリ
しんこう ちじょう しょうがい
ストへの信仰を、地上のイエスの生涯に
むす
結びつけようとしています。しかし、こ
ふくいんしよ きしゃ ふくいんしよ
の福音書記者は、マルコ福音書だけでな
た しりょう もち
く、他の資料も用いています。

ふくいんしよ とくちょう
この福音書の特徴は、イエスこそユダ
じん たいぼう しよちょう
ヤ人が待望したメシアであることを主張
きょうやく よ
することです。イエスにおいて旧約の預
げん じょうじよ しょうぬい
言が成就したことを証明しています。

じん しどうしゃ
このメシアは、ユダヤ人指導者たちに
きよひ じん
よって拒否され、ユダヤ人のみならず、
いほうじん ふくいん つた
異邦人にも福音が伝えられるようになり

あたら かみ たみ きょうかい
ます。つまり、新しい神の民である教会
じん いほうじん とも ふく
には、ユダヤ人も異邦人も共に含まれて
いほうじん せんきょう
います。そして、異邦人への宣教は、イ
いと もと しめ
エスの意図に基づいていることが示され
ています。

ふくいんしよ ち いき
この福音書は、ヘレニズム地域のユダ
じん しゃ きょうかい つく
ヤ人キリスト者の教会で作られ、ユダヤ
せんきょう いほうじん せんきょう たいりつ かい
人への宣教と異邦人への宣教の対立を解
しょう いと かんが
消する意図があったものと考えられてい
ます。

かんが しよ こうげん
このように考えてみると、主の公現の
で きごと ものがたり たんじょう
出来事の物語は、イエスの誕生がユダヤ
じん ひと すく
人のためだけでなく、すべての人の救い
つた
にかかわりをもっていることを伝えてい
かぎ
ることになります。イエスは、ごく限ら
ひとびと ひとびと
れた人々のためだけでなく、すべての人々の
うま ものがたり
ためにお生れになったことを、この物語
わたし つた わたし
は私たちに伝えていています。私たちも、こ
よろこ し じん
の喜びの知らせを、自分たちだけのもの
おお ひとびと わ あ
としないで、多くの人々と分かち合っ
たんじょう
ていきましょう。イエスの誕生はユダヤの
ち かぎ
地に限られていないのです。

しよ こうげん しよじつ ねん たきの
主の公現の主日C年（滝野）